

分類 番号	A1	取組 名称	丹後地域の高大連携、世代間交流を核とした文化遺産活用
研究代表者所属・職名： 文学部・准教授 氏名： 東 昇			
研究担当者： 京都府立大学（菱田哲郎、小林啓治、諫早直人（敬称略）） 外部分担者・協力者（小室智子氏、廣瀬邦彦氏、新谷勝行氏）			
主な連携機関（所在市町村、機関（部署）名） 京都府舞鶴市、京都府立東舞鶴高校、舞鶴地方史研究会、全国藩校サミット舞鶴大会実行委員会 京丹後市、教育委員会文化財保護課			
【研究活動の要約】			
舞鶴・京丹後において、①全国的なイベントである藩校サミット舞鶴大会へブース参加し、舞鶴の歴史をパンフレット等でアピール。②東舞鶴高校 2 年生と大学生のワークショップ形式の連携授業により、身近な地元の歴史を探求。③舞鶴地方史研究会・大学生の古文書調査に、高校生が参加することにより世代間交流を実施。 文化遺産の調査を通して、東舞鶴高校との高大連携、藩校サミット・舞鶴地方史との世代間交流を核とした、新しい文化資源活用を実践し、今後の地域振興と持続的な発展の先進事例となった。			
【研究活動の成果】			
東舞鶴高校での歴史・文化遺産をテーマにした高大連携授業 ・参加者 東舞鶴高校 2 年生 4・5 組日本史・世界史選択の 61 名と府大文化情報学ゼミ生 10 名 ・授業テーマ 1「桐油・桐実からみる舞鶴の歴史」(10/22)、2「200 年前の東舞鶴高校付近」(11/12)、3「200 年前の舞鶴の正月行事」(1/11)、4「歴史研究と大学生活」(2/18)。 ・内容 舞鶴地方史研究会・ゼミ生が整理した古文書の中から、約 200 年前（文化 10 年（1813））「作方年中行事」という、当時の舞鶴の農村・漁村の行事や農作業が毎日記された貴重な史料を選定。1 月の授業のため、現代と 200 年前の正月行事を大学生と協力しながらカレンダーに記入。どんど焼き、狐狩り、六齊念仏等の行事、木綿の糸引き、麦の中打ち等農作業の説明を行った。 ・成果 自分の身近な地域や行事にも意外な歴史が宿っていることに、高校生は興味を示した。結果、大学・舞鶴地方史研究会の古文書調査に、高校生が主体的に参加、地域の歴史に関心を持ち、世代間交流を達成した。			
【研究成果の還元】			
2018.9.29 ACTR 成果紹介パンフレット「舞鶴の歴史アラカルト」（府大・舞鶴郷土資料館で配布） 2019.3.2 舞鶴市政記念館ホール「地域貢献型特別研究（ACTR）成果報告会 in 舞鶴」（京都府立大学京都地域未来創造センター主催）開催、60 人 2019.3.29 文化遺産叢書 16『舞鶴の地域連携と世代間交流 井上奥本家文書調査報告』を刊行（160 頁）（京都府内の図書館で閲覧可能）			
【お問い合わせ先】 文学部歴史学科 准教授 東 昇 Tel: 075-703-5271 E-mail: n-higashi@kpu.ac.jp			

参考 (イメージ図、活動写真等)



パンフレット「舞鶴の歴史アラカルト」

藩校サミット舞鶴大会のブース解説



東舞鶴高校の高大連携授業



舞鶴地方史研究会との古文書調査